

そこに光が降りてくる
青木野枝／三嶋りつ恵

Wonderment

Noe Aoki / Ritsue Mishima

Sat, November 30, 2024 – Sun, February 16, 2025

Hours: 10:00–18:00 (Last admission at 17:30)

*November 30, December 6, 7 opening until 20:00 (Last admission at 19:30)

Closed: Mondays (except January 13), during the New Year's Holidays (December 28–January 4) and January 14

朝香宮邸でつむぐ鉄とガラスの創造

2024年11月30日(土) | 2025年2月16日(日)

開館時間 10時–18時(入館は閉館の30分前まで)
※11月30日、12月6日・7日は秋の夜間開館のため夜20時まで
休館日 毎週月曜日および年末年始(12月28日–1月4日)は休館
※ただし1月13日(日)は開館、1月14日(月)は休館

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.

Bloomberg
Van Cleef & Arpels



そこに光が降りてくる 青木野枝／三嶋りつ恵

朝香宮邸でつむぐ鉄とガラスの創造

降り注ぐ太陽の光、おだやかな温もりを感じさせる日だまり、暗闇の中に差し込む月明かり…私たちは生きている間に、さまざまな光との邂逅を重ねています。

本展は、現代美術の第一線で活躍を続ける二人の作家、青木野枝と三嶋りつ恵が、当館の各所に作品を配置し、新たな視点でアール・デコの装飾空間を照らし出す企画です。

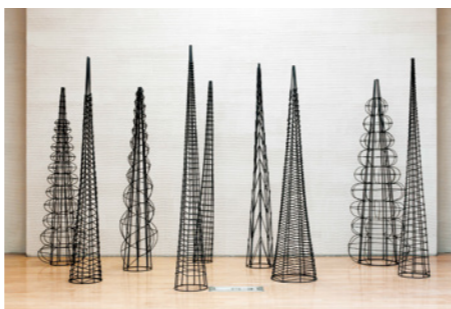
青木は鉄を用いて空間に線を描くような彫刻で表現の地平を切り拓き、三嶋は無色透明のガラス作品を通して場のエネルギーを掬い取り光に変換してきました。二人が使用する“鉄”と“ガラス”という素材は、悠久の時を経て今日に伝えられた自然の恵みであると同時に、会場である旧朝香宮邸を彩る装飾として、シャンデリアやレリーフ、扉上のタンパン等にも多用されています。二人は幾度となくこの場所を訪れ、1930年代の装飾空間との対話を重ねて、本展のために一期一会の展示プランを作り上げました。

ともに創作に火を用い、熱く輝く炎によって、素材に生命を吹き込んできた青木野枝と三嶋りつ恵。そのプリミティブな力を宿したフォルムは、自然のもつエネルギーや循環を想起させ、見る者に驚きと気づきをもたらし、私たちを取り巻く世界を新たな光で包み込みます。

「私のガラスは無色透明です。そして周りの光や色をとらえて解き放つのです」 三嶋りつ恵



《微塵》2020年 gallery21yo-j 展示風景 撮影：山本朝
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY



《Untitled》1981年 府中市美術館 展示風景 撮影：山本朝
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY



《立山 2020-9》2020年 撮影：三嶋りつ恵
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY



《蒸気管／寿町》2016年 大分県立美術館 展示風景 撮影：山本朝
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY



《もどる水／八戸》2023年 八戸市美術館 展示風景 撮影：山本朝
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY

青木野枝 Noe AOKI

1958年東京都生まれ、埼玉県在住。1983年武蔵野美術大学大学院造形研究科（彫刻コース）修了。活動当初から一貫して、鉄を素材に抽象彫刻を生み出してきた彫刻家。工業用の鉄板を溶断して線や円を切り出し、そのパーツを展示空間やその場に合せて巧みに繋ぎ合わせて作品化する。ガラスや石鹸など異なる素材を鉄と組み合わせた作品も発表。

鉄という重い素材を用いながらも、作品は軽やかな浮遊感を放ち、まるで空間の中に描かれたドローイングのようだと評される。自然の働きを想わせるタイトルを作品に付すことも多く、その場に現れるインスタレーションを通して、変化や増殖といった生命感呼び覚ます風景を立ち上げる。都内では、日本生命浜松町クレアタワーの屋外などに彫刻作品を常設。

表面上＝《微塵》（部分）2020年 gallery21yo-j 展示風景 撮影：山本朝
©Noe Aoki, courtesy of ANOMALY



制作風景（鉄の溶断） 撮影：新波周平

「鉄は透明な金属。そしていつも内部に透明な光をもっている」 青木野枝



《SPIN》 撮影：ニシカワヨシエ
©Ritsue Mishima



「IN GRIMANI」国立パラッツォ・グリマーニ美術館（ヴェネツィア）展示風景 2013年 撮影：Francesco Barasciutti



《HALL OF LIGHT》（部分）2019年 撮影：Shigeo Muto
©Ritsue Mishima, courtesy of ShugoArts



「星々」シュウゴアーツ 展示風景 2017年 撮影：Shigeo Muto
©Ritsue Mishima, courtesy of ShugoArts



《MONDO》2023年 撮影：Shigeo Muto
©Ritsue Mishima, courtesy of ShugoArts



制作風景（ASCENSION） 撮影：三嶋りつ恵

Wonderment Noe Aoki / Ritsue Mishima

From streams of sunlight to the gentle warmth of places basked in the light of day, and moonlight shining through the darkness, we encounter various kinds of light over the course of our lives.

In this exhibition, Noe Aoki and Ritsue Mishima, two artists who continue to be active at the forefront of contemporary art, present their work throughout the museum, shedding light on its Art Deco interior from a new perspective.

Aoki has opened up new horizons of expressions with her sculptures that draw lines in space using iron, while Mishima captures the energy of the space and transforms it into light through her colorless, transparent glass works.

The materials of “iron” and “glass,” which the two artists respectively use in the production of their work, are not only blessings of nature that have been passed down through the ages, but are also employed extensively in the decoration of the Former Residence of Prince Asaka, which serves as the venue for the exhibition, including its chandeliers, reliefs, and the tympanums above the doors. The artists visited the site on many occasions and engaged in a repeated dialogue with the building’s 1930s decorative interior to bring together a remarkably unique, once-in-a-lifetime installation plan.

Noe Aoki and Ritsue Mishima, who both use fire in their creations, breathe life into materials through blazing, luminous flames. The forms they produce, imbued with this primitive power, evoke the energy and cycles of nature, bringing wonderment and awareness to those who view them, and enveloping the world around us in a new light.

表面上＝《VENERE》2023年 撮影：Francesco Barasciutti
UESHIMA MUSEUM COLLECTION

●関連プログラム

作品との出会いを深め、対話をつむぎだすプログラム

◎青木野枝・三嶋りつ恵によるアーティストトーク

出品作家二人が登場し、出品作品や展覧会について語ります。

日時=2月15日㊤ 14:00-15:30

参加費=無料(当日有効の展覧会チケットが必要)

定員=70名(要申込)

◎ギャラリートーク「朝香宮邸をめぐる光、そして鉄とガラス」

本展スタッフが出品作品や展覧会エピソードについて語ります。

日時=1月23日㊤・2月6日㊤ 11:00-12:00

参加費=無料(当日有効の展覧会チケットが必要)

定員=10名(当日受付・先着順)

◎哲学対話「ともに考える、対話する—光ってなんだろう？」

作品を見た後、テーマや作品についてゆっくり対話しながら考えを深めます。

企画・ファシリテーター=NPO法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ

日時=12月22日㊤ 14:00-16:30

参加費=無料(当日有効の展覧会チケットが必要)

対象・定員=中学生以上どなたでも20名(要申込)

◎さわ会—さわっておしゃべり鑑賞会「触れて、感じて、対話する」

作品やその素材に触れ、作家の制作過程を想像しながら鑑賞を楽しみます。

企画=半田こづえ(明治学院大学 非常勤講師)

日時=2月1日㊤ 14:00-16:00

参加費=無料(当日有効の展覧会チケットが必要)

対象・定員=中学生以上どなたでも(視覚に障害がある方もない方も参加可能)6名程度(要申込)

◎先生のための特別研修会

先生による先生のための美術館プログラム。展覧会を鑑賞する際のポイントなどをご紹介します。

企画=江原貴美子(港区立弁小学校 図工講師)

日時=12月6日㊤ 18:00-20:00

参加費=無料

対象・定員=都内の小・中・高等・特別支援学校の先生方20名(要申込)

※12月3日㊤-12月12日㊤(12月9日㊤を除く)は都内の小・中・高等・特別支援学校の先生方が無料で展覧会をご覧いただけるティーチャーズウィークを開催します。

●フラットデー

障害がある方も、赤ちゃん連れの方も、だれもが気兼ねなく来館できるプログラム

東京都庭園美術館は、あらゆる方にとって居心地の良い場となることを目指し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境づくりに取り組みます。

当日はオンラインチケットをご予約・購入済の方、障害者手帳等をお持ちの方や各種割引が適用される方、無料対象の方以外はお入りいただけません。あらかじめご了承ください。
フラットデー当日はアート・コミュニケータといっしょに展覧会をめぐるツアーを行います(要申込)。

◎ゆったり鑑賞日

日時=1月22日㊤ 10:00-18:00(最終入館17:30)

◎ベビーアワー

日時=1月29日㊤ 10:00-15:00(本館内でベビーカーを利用できる時間)

展覧会会期中に開催されるプログラムは随時追加される予定です。

最新情報や申込方法など詳細は当館ウェブサイトにてお知らせいたします。



旧朝香宮邸 大客室



旧朝香宮邸 外観

●観覧料 | Admission

一般 Adults	¥1,400 (¥1,120)
大学生(専修・各種専門学校含む) University and vocational students	¥1,120 (¥890)
中・高校生 Middle and high school students	¥700 (¥560)
65歳以上 Senior (65 and above)	¥700 (¥560)

※展覧会チケットはオンラインおよび美術館正門チケット売り場にてご購入いただけます。ただし、2025年1月22日㊤・29日㊤はフラットデー開催日のため、美術館正門チケット売り場での販売はいたしません。無料・割引対象者以外はオンラインにてご購入ください。チケット販売に関する最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

※()内は20名以上の団体料金/小学生以下および都内在住の中学生は無料/身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料/教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(事前申請が必要)

※第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料

*Please see our website for more detail about the admission.

●写真撮影

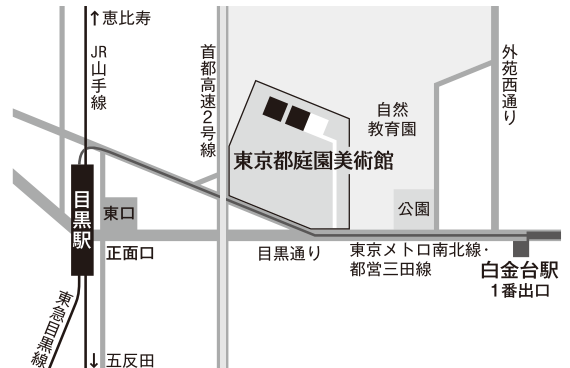
会期中、会場内の写真撮影が可能です(一部の資料・映像・展示を除く)。会場に掲出している諸注意をご確認いただき、撮影をお楽しみください。

●アクセス

〔目黒駅〕JR山手線 東口/東急目黒線 正面口より徒歩7分

〔白金台駅〕都営三田線/東京メトロ南北線 1番出口より徒歩6分

※エレベーターご利用の場合は2番出口より徒歩8分



●お問い合わせ | Inquiry

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

5-21-9, Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo Tel. +81(0)50 5541 8600

www.teien-art-museum.ne.jp SNS: @teienartmuseum

東京都庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM